

令和2年度

# 事業報告書

公益財団法人 新潟県健康づくり財団



# 令和2年度事業報告書

## 【 概 要 】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染の拡大が世界的に政治、経済、社会に大きな影響を及ぼす中での事業実施となった。

新潟県は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、4月16日から5月14日まで国による緊急事態措置の対象区域となった。また、新潟県は、独自の“注意報”を7月31日（9月8日解除）、11月11日に発令し、12月17日には“注意報”から“警報”に引き上げ、令和2年度末時点で継続となっている。

このような新型コロナウイルス感染症の影響により、市町村では、健（検）診中止や延期又は規模が縮小され、また、健（検）診対象者が、“感染が怖い、心配”との理由で健（検）診の受診をためらうことが多く見られた。

受診者数が減少することによりがんの発見が遅れ、今後、進行がんの増加が懸念される。そこで、当財団として早い段階から、コロナ禍においても健（検）診の受診は“早期発見・早期治療”のために非常に重要で、健（検）診会場では健（検）診機関が感染症対策を徹底し、安全に受診できること等を広報事業により県民に強く訴えた。

結果として当財団前年度比では、がん検診等は23.0%、特定健康診査は20.2%の受診者が減少した。

また、講演会や研修会、会議等も新型コロナウイルス感染症流行の状況を見ながら、関係者と協議した上で、中止や延期、WEBでの開催とせざるを得ない状況であった。

このような状況下においても、県、市町村や医師会、新潟大学を始めとした県内大学との連携により、がんその他の生活習慣病の予防・早期発見等の健康づくりに関する公衆衛生の向上及び高齢者の福祉の増進に必要な事業を可能な限り行った。

## 【 公益目的事業 】

県民の健康の保持増進については、健康寿命の延伸を図るため、一次予防及び二次予防事業を中心に以下に記載の事業を実施した。

### 《一次予防》 “がんを含めた生活習慣病の予防知識の啓発”

普及啓発事業として、新聞、ラジオ、JR 電車内広告、フリーペーパー等を活用し、“健（検）診受診”が生活習慣病やがん等の早期発見・早期治療のために重要であり、コロナ禍においても過度な受診控えをしないよう広く県民に

訴えた。

また、教育現場からのニーズが高い「がん教育」については、中学生を対象とし行った。今年度は、10 中学校で開催することができた。

生徒に行ったアンケート調査から“がん”について“早期発見・早期治療の重要性”等、がんについての正しい知識を理解してもらうことができた。

啓発イベントでは、10 月に予定していた「がん征圧新潟県大会」は事前申込者が例年より大きく減少したこと等により令和3年度に延期とし、「ピンクリボンホリデー」はWEBでの開催とした。市町村と共催で行う講演会では、新型コロナウイルス感染症の影響により、燕市での開催のみとなった。

なお、例年、他団体が開催する健康イベントに出展し、健（検）診受診に関する普及啓発活動をしていたが、今年度、軒並み中止となったため、出展することができなかった。

## 《二次予防》“受診率、検診精度の向上に向けた取り組み”

(特定健康診査について)

「新潟県健診保健指導支援協議会」を通じて、特定健診受診率の向上、効果的な特定健診の実施のため、健診データの評価分析や健診従事者への研修事業等を実施した。

(各種がん検診について)

がん検診事業をより円滑に実施するため、検診従事者の資質向上を目的に、がん検診セミナー等を開催し、受診率の向上、がんの早期発見、診断等に必要な知識及び技術の習得を図った。

また、5大がんについては、市町村、検診機関から集めたデータから“検診と精密検査”の統計結果を作成し、更に発見がんに対する疫学調査により発見されたがんの病期等の詳細な情報を関係機関にフィードバックすることで検診精度の向上につなげた。

## **【 収益事業 】**

当財団の財務基盤の強化を図るための主な収益事業として、本来、特定健診実施機関が行う特定健診料金を請求するための健診結果の電子データ作成について、当財団に委託を希望する健診実施機関からの代行（487 機関）や個人結果通知書作成業務（2市 56 機関）を有償で受託し、健診実施機関における事務作業の軽減を図った。

## 〈 理事会・評議員会等開催状況 〉

次のとおり開催し、付議事項について議決された。

### 第27回 定例理事会

開催日： 令和2年6月8日（月）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案「令和元年度事業報告」について

第2号議案「令和元年度決算報告」について

第3号議案「定時評議員会へ提出する役員等候補者名簿」について

第4号議案「定時評議員会の開催日時及び場所並びに目的等」について

### 第28回 臨時理事会

開催日： 令和2年6月29日（月）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案 代表理事（理事長）の選定について

第2号議案 業務執行理事の選定について

第3号議案 副理事長、専務理事及び常務理事の選定について

第4号議案 重要な使用人の選定について

### 第29回 定例理事会

開催日： 令和3年3月18日（木）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案「令和3年度事業計画」について

第2号議案「令和3年度収支予算」について

### 第18回 定時評議員会

開催日： 令和2年6月29日（月）

場 所： 新潟県医師会館

決議事項： 第1号議案「令和元年度事業報告」について

第2号議案「令和元年度決算報告」について

第3号議案「役員等の選任」について

報告事項：（1）「令和2年度事業計画」について

（2）「令和2年度収支予算」について

### 令和元年度事業・決算監査

開催日： 令和2年5月28日（木）

場 所： 財団会議室

監 査：（1）令和元年度事業報告について

（2）令和元年度決算報告について

## [ 公益目的事業 ]

### I 特定健診・特定保健指導支援事業

「新潟県健診保健指導支援協議会」の構成団体として、受診率の向上等円滑な事業実施を図るため研修会、講演会等の開催、広告媒体を用いた広報、啓発用リーフレット等の作成配布等を実施した。

特定健診実施数（後期高齢者健診等を含む）

実施数 30市町村国保及び県内3国保組合

196,677人 (246,439人)

( ) 内は令和元年度実施数

#### 1 会議・講演会等の開催

##### (1) 市町村健康診査等担当者研修会（「Ⅱ がん検診等受託事業」と共同事業）

健康診査事業の円滑な推進を図るため、健康増進法及び高齢者の医療の確保に関する法律等の業務に従事する新任担当者等に対し、次のとおり研修会を開催した。

開催日： 令和2年8月28日（金）

開催方法： WEB開催（Zoom）

参加者： 37人

##### (2) 健康診査事業合同打合せ会（「Ⅱ がん検診等受託事業」と共同事業）

令和3年度の健康診査事業等を円滑に推進するため、市町村、県健康福祉（環境）部、検診機関、郡市医師会等の担当者を対象として、県、県医師会、県国保連の協力により、次のとおり開催した。

開催日： 令和3年2月10日（水）～2月18日（木）

開催方法： WEB開催（オンデマンド配信）

視聴数： 350回

##### (3) 市町村と共同で開催する講演会（「Ⅱ がん検診等受託事業」と共同事業）

生活習慣病に関する正しい知識の普及と特定健診・特定保健指導の受診勧奨を目的として、次のとおり主催燕市及び当財団、共催弥彦村で開催した。

<生活習慣病予防講演会>

開催日： 令和3年1月15日（金）

場 所： 燕市吉田産業会館

参加者： 170人

内 容： 講演 「知っていますか？大腸がんのこと～予防から治療まで～」

講師 新潟大学医学部消化器疾患 低侵襲予防医学開発講座

特任准教授 水野研一

#### (4) 中学生に対する生活習慣病予防等教育（「Ⅱ がん検診等受託事業」と共同事業）

中学生に対し、がんをはじめとした生活習慣病についての基礎知識や検診の重要性について普及啓発を行った。

開催市町村： 6市町

開催中学校： 10中学校

出席生徒数： 1,054人

##### ア 長岡市立小国中学校

実施日： 令和2年10月2日（金）

出席生徒数： 57人

内容： がんはこわくない

講師： 新潟県労働衛生医学協会 医師 月岡 恵

##### イ 新発田市立紫雲寺中学校

実施日： 令和2年10月8日（木）

出席生徒数： 182人

内容： いのちについての講演会

講師： あがの市民病院 院長 藤森 勝也

##### ウ 上越市立城東中学校

実施日： 令和2年10月9日（金）

出席生徒数： 132人

内容： 10代の君に知っておいて欲しい「がん」のこと

講師： 済生会新潟病院 外科部長 田邊 匡

##### エ 新発田市立東中学校

実施日： 令和2年10月14日（水）

出席生徒数： 198人

内容： いのちについての講演会

講師： 五泉中央病院 院長 高橋 姿

##### オ 燕市立分水中学校

実施日： 令和2年11月16日（月）

出席生徒数： 98人

内容： がんという病気について

講師： 新潟県立加茂病院 院長 秋山 修宏

- カ 湯沢町立湯沢中学校  
実施日： 令和2年11月16日（月）  
出席生徒数： 50人  
内 容： がんについて（新潟の医療について）  
講 師： 魚沼基幹病院 院長 鈴木 榮 一
- キ 上越市立吉川中学校  
実施日： 令和2年11月19日（木）  
出席生徒数： 60人  
内 容： がんについてのお話  
講 師： 新潟大学医学部保健学科看護学専攻 教授 小山 諭
- ク 加茂市立須田中学校  
実施日： 令和2年11月20日（金）  
出席生徒数： 40人  
内 容： 高齢化社会と消化器がんについて  
講 師： 新潟大学医学部 消化器疾患診療ネットワーク講座  
特任准教授 上村 博 輝
- ケ 長岡市立寺泊中学校  
実施日： 令和2年11月24日（火）  
出席生徒数： 55人  
内 容： がんについて -いのちの講演会-  
講 師： 新潟県労働衛生医学協会 会長 佐藤 幸 示
- コ 燕市立燕中学校  
実施日： 令和3年1月12日（火）  
出席生徒数： 182人  
内 容： 「がん」について考えてみませんか？  
講 師： 新潟市民病院 消化器外科 副部長 亀山 仁 史

## （5）健診委員会

新潟県健診保健指導支援協議会が設置した特定健診に関する事項を検討する健診委員会（委員長 新潟県立大学人間生活部・健康栄養学科教授 田邊直仁）を運営し、令和3年度特定健診料金（案）について協議した。

## 2 特定健診データ等の評価分析等

市町村国保等の健康施策の作成等に資するため、特定健診等の結果集計報告を基に、全県的な分析を行い、市町村比較が容易となるよう資料を作成し市町村に提供した。



### 3 特定健診・特定保健指導の普及啓発及び受診率向上のための事業等

#### (1) 広告媒体を用いた普及啓発等

ア JR広告（「Ⅱ がん検診等受託事業」と共同事業）

4月から1年間、県内エリアのJR電車内のドア上に、特定健診及びがん検診の受診勧奨広告を掲載した。

イ ラジオコマーシャル（「Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業」と共同事業）

5月から令和3年2月までの間、生活習慣病予防啓発及び特定健診、がん検診の受診勧奨を目的として、週2回コマーシャルを放送した。

#### (2) 普及啓発用パンフレットの配付

特定健診受診勧奨用パンフレットを市町村国保、県内3国保組合へ配付した。

#### (3) 普及啓発用（貸出用）備品整備（「Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業」と共同事業）

市町村等の関係機関に対し、生活習慣病予防に関するタペストリー、血管年齢測定機器等の健康教育資材の貸出を行った。（貸出件数 8件）

#### (4) 各種健康づくりイベントへの参加（「Ⅱ がん検診等受託事業」と共同事業）

令和元年度に引き続き、来場者への特定健診等の普及啓発を予定していた「BSN夏ラジオ2020」（会場：新潟ふるさと村）は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止となった。また、他のイベントへの出展も検討したが軒並み中止となりイベント出展はできなかった。

### 4 特定健診・特定保健指導委託契約に係る事務

特定健診・特定保健指導を全県統一方式で推進するため、本財団が特定健診・特定保健指導実施機関の契約代表者となって、業務委託契約を締結した。

### 5 印刷物の企画、印刷・配付・斡旋等

#### (1) 個人記録票、質問票、連名簿等の印刷

大量印刷することによるコストダウンを図るため、健（検）診ガイドラインに掲載されている様式について市町村等の必要部数を取りまとめた上、一括印刷を行い配付した。

#### (2) 特定健診・特定保健指導受診勧奨用ポケットティッシュ等の作成

特定健診・特定保健指導受診勧奨用にポケットティッシュ（30万個）を市町村等に配付した。

### 6 新潟県健診保健指導支援協議会構成団体共同事業

特定健診の普及啓発及び受診勧奨を図るため、新潟県健診保健指導支援協議会の構成団体と受診勧奨用パンフレット（2,400部）を作成し、各団体に配付した。

## II がん検診等受託事業

### 1 健康診査事業連絡調整事業

(1) 市町村健康診査等担当者研修会（「I 特定健診・特定保健指導支援事業」と共同事業）

(2) 健康診査事業合同打合せ会（「I 特定健診・特定保健指導支援事業」と共同事業）

### (3) がん検診等に係る業務

新潟県の「健(検)診ガイドライン」に基づき、全県統一方式で実施されるがん検診並びに肝炎ウイルス要指導者等施設検診の問題点を把握し、全県的な取りまとめ及び検討、並びに検診事業を円滑に実施するためのコーディネート等を行った。

( ) 内は令和元年度実績

#### ア 胃がん検診

契約市町村数	30	( 30 )
受診者数	59,413人	( 81,040人)

#### イ 子宮がん検診

##### 車 検 診

契約市町村数	28	( 28 )
受診者数	18,699人	( 27,606人)

##### 施 設 検 診

契約市町村数	28	( 28 )
受診者数	19,597人	( 21,199人)

##### 体がん検診

契約市町村数	2	( 3 )
受診者数	342人	( 560人)

#### ウ 肺がん検診

##### X線写真読影

契約市町村数	30	( 30 )
受診者数	155,989人	( 210,399人)

##### 喀 痰 検 査

契約市町村数	30	( 30 )
受診者数	2,601人	( 4,367人)

#### エ 乳がん検診

##### 集団(マンモ)

契約市町村数	29	( 29 )
受診者数	36,259人	( 50,010人)

### 施設(マンモ)

契約市町村数	19	( 18 )
受診者数	12,343人	( 12,000人)

### 施設(視触診)

契約市町村数	0	( 1 )
受診者数	0人	( 2人)

### オ 大腸がん検診

契約市町村数	30	( 30 )
受診者数	109,730人	( 130,012人)

### カ 肝炎ウイルス二次検診

契約市町村数	2	( 2 )
受診者数	188人	( 380人)

### キ 前立腺がん検診

契約市町村数	12	( 12 )
受診者数	5,241人	( 8,648人)

## 2 悪性新生物(がん)登録収集業務

県の委託により関係医療機関への届出用CD-R等の配付、がん登録情報の收受など、がん対策を効果的、効率的に推進するための情報収集事業を行った。

登録票受付件数	29,511件	(29,987件)
届出医療機関数	180機関	(173機関)

( )内は令和元年度実績

## 3 検診結果統計分析事業

「(3)がん検診等に係る業務」に記載の各種がん検診実績数の検診結果について、全県的な統計分析を行い市町村等関係者に結果報告書を作成し配付した。また、希望市町村に対し個人の検診結果を電子データで還元した。

がん検診データ還元 ( )内は令和元年度実績

・胃がん検診実施市町村数	3	( 3 )
・子宮がん検診実施市町村数	3	( 3 )
・乳がん検診実施市町村数	3	( 3 )
・肺がん検診実施市町村数	3	( 3 )
・大腸がん検診実施市町村数	3	( 3 )
・前立腺がん検診実施市町村数	1	( 1 )

#### 4 がん検診データ等一元化事業

県内で実施されている事業所検診等の健(検)診の実態把握が不十分であり、健(検)診事業の全体把握ができない現状であることから、がん検診結果について県検診機関協議会の協力を得て、事業所検診等の任意型検診の結果を収集し分析した。

#### 5 疫学調査事業

令和元年度の各種(胃・子宮・肺・乳・大腸)がん検診結果に基づき「がん」又は「がんの疑い」と診断された者に対する疫学調査を実施した。

また、平成29年度実施分の結果を取りまとめ「集検から発見された胃がん」「集検から発見された肺がん」として報告書を作成し、関係者に配付した。

さらに、疫学調査により報告された患者に対する追跡調査(平成27年度・平成29年度がん検診受診者)を実施した。

	(令和元年度分) 疫学調査	(平成27年度・平成29年度分) 追跡調査
・胃がん検診実施件数	166件	385件
・子宮がん検診実施件数	137件	80件
・肺がん検診実施件数	378件	313件
・乳がん検診実施件数	156件	339件
・大腸がん検診実施件数	375件	693件

#### 6 精度管理調査事業

伝統ある「新潟県検診機関協議会」の質の向上を図り、県民に“安心”して健(検)診を受診してもらうため、「新潟県検診精度管理調査委員会」において実態調査を行った。

#### 7 研究研修事業

##### (1) 新潟県がん検診研究会

がんに関する普及啓発、調査研究及び発症予防等を総合的に推進するため、新潟県がん検診研究会の円滑な運営等を支援した。

会 長	新潟県保健衛生センター会長	横 山 晶
会 員 数	個人 10人	団体 73団体
令和2年12月4日(金)	第1回理事会	書面協議
令和3年3月8日(月)	第2回理事会	書面協議

第32回新潟県がん検診研究会総会を次のとおり開催した。

開催期間： 令和3年2月22日(月)～令和3年3月21日(日)

開催方法： WEB開催(オンデマンド配信)

視聴数： 74回

内 容 :

特別講演 「肺がん検診の現状と課題」

講 師 新潟県がん検診研究会会長

(新潟県保健衛生センター会長)

横 山 晶

## (2) 新潟県糖尿病対策推進会議

糖尿病に関する普及啓発、調査研究及び発症予防等を総合的に推進するため、新潟県糖尿病対策推進会議の円滑な運営等を支援した。

会 長 新潟県健康づくり財団理事長 渡 部 透

会 員 数 個人 19人 団体 68団体

令和2年7月29日(水) 第1回幹事会 本財団

10月20日(火) 第1回理事会 書面協議

令和3年3月2日(火) 第2回理事会 書面協議

第7回新潟県糖尿病対策推進会議総会を次のとおり開催した。

開催日: 令和2年11月28日(土)

場 所: 新潟ユニゾンプラザ、WEB(ハイブリッド)開催

参加者: 88人

内 容:

ア シンポジウム

テーマ 「COVID-19禍における糖尿病対策」

座 長 上村医院 院長 上 村 伯 人

演題1 「コロナにより、通院間隔がのびて血糖コントロールは  
どう変化したか？」

万代内科クリニック 院長 田 村 紀 子

演題2 「コロナ禍における健診データの悪化について」

新潟大学大学院生活習慣病予防検査医学講座

特任教授 加 藤 公 則

演題3 「コロナと糖尿病について」

厚生連長岡中央総合病院 糖尿病センター長 八 幡 和 明

イ 特別講演

演 題 「Health Provider が患者さんと対話するときに役立つ  
コミュニケーションスキル」

講 師 松本メディカルコミュニケーションズ代表 松 本 一 成  
(糖尿病専門医)

座 長 厚生連長岡中央総合病院 糖尿病センター長 八 幡 和 明

### (3) 新潟県検診機関協議会

新潟県検診機関協議会が目的とする県民保健福祉の向上に寄与するための検診技術及び精度の向上、情報交換並びに調査研究等の円滑な運営等を支援した。

会 長 新潟県健康づくり財団理事長 渡 部 透

会 員 数 24団体

令和2年4月22日（水）常任幹事会	新潟県医師会館
4月24日（金）第1回役員会	書面協議
5月27日（水）定例総会	書面協議
令和3年3月10日（水）第2回役員会	書面協議
3月15日（月）	
～25日（木）従事職員研修会	WEB開催

### 8 新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会

新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会(12地域)において、肺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の肺がん検診部会との連携を図った。

新潟県肺がん検討委員会

委 員 長 新潟県保健衛生センター会長 横 山 晶

委 員 7人

地域肺がん検討委員会（12地域）

（設置地域） 新潟・村上・新発田・五泉・三条・長岡・魚沼・南魚沼・十日町  
柏崎・上越・佐渡

新潟県肺がん検討委員会・地域肺がん検討委員会合同会議を次のとおり書面協議により実施した。

実施日： 令和3年3月15日（月）

議 題：

- (1) 委員の交代について
- (2) 令和元年度肺がん検診結果報告について
- (3) 平成30年度肺がん疫学調査・追跡調査について
- (4) 令和元年度地域肺がん検討委員会開催状況について

### 9 新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会

新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会(5地域)において、「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の乳がん検診部会との連携により乳がん検診の円滑な実施及び運営を行った。また、普及啓発を中心に活動を行う「新潟はっぴー乳ライフ」の事業を実施した。

## 新潟県乳がん検討委員会

委員長 新潟県立がんセンター新潟病院院長 佐藤 信昭

委員 15人

## 地域乳がん検討委員会(5地域)

(設置地域) 新潟・下越・中越・魚沼・上越

新潟県乳がん検討委員会・地域乳がん検討委員会合同会議を次のとおりZOOMによるWEB会議を実施した。

実施日： 令和2年11月4日(水)

議題：

- (1) 令和元年度乳がん検診結果報告等について
- (2) 平成30年度乳がん疫学調査・追跡調査について
- (3) 令和元年度地域乳がん検討委員会の開催状況について
- (4) 新型コロナウイルス感染症拡大による乳がん検診の影響と対応について

## 新潟はっぴー乳ライフ事業

令和2年7月7日(火)	第1回実行委員会	WEB開催
12月15日(火)	第2回実行委員会	〃
令和3年3月9日(火)	第3回実行委員会	〃

「ピンクリボンホリデー2020」を次のとおり開催した。

開催日： 令和2年10月18日(日)～令和2年11月17日(火)

場所： WEB開催(オンデマンド配信)

参加者： 1,092人

内容：

第1部：リレー講座「コロナが心配・・・でも乳がんも待ってくれませんか」

講座(1)「病院診療の実際」

新潟市民病院 乳腺外科部長 坂田 英子

(2)「マンモグラフィとコロナ対策」

新潟マンモグラフィ研究会

新潟県労働衛生医学協会 診療放射線技師 山崎 薫

(3)「コロナ禍での検診」

新潟県福祉保健部健康対策課 成人保健係

主任 中村 春歌

(4)「コロナ禍での受診・生活上の注意点」

あけぼの新潟 会員 安部 あゆみ

第2部：講演「コロナに負けない健康づくり」

講師 新潟大学大学院保健学研究科 教授 小山 諭

## 10 新潟県前立腺がん検討委員会

新潟県前立腺がん検討委員会において、前立腺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の胃がん・大腸がん検診部会(前立腺がん検診の内容含む)との連携を図った。

新潟県前立腺がん検討委員会

委員長 新潟大学大学院医歯学総合研究科  
腎・泌尿器病態学分野 教授 富田善彦  
委員 12人

前立腺がん検討委員会を次のとおり開催した。

実施日： 令和3年3月13日(土)  
場所： 新潟県医師会館401、402会議室  
議題： (1) 前立腺がんの実態調査結果について  
(2) 高齢者のがん検診について  
(3) 新潟市の節目検診について

## 11 中学生に対する生活習慣病予防等教育(「I 特定健診・特定保健指導支援事業」と共同事業)

### 12 フレイル克服プロジェクト

平成28年10月から県の委託を受けて本財団が「フレイル克服プロジェクト」の事務局となり、「加齢予防介入モデル事業」と「疾病介入モデル事業」を両輪とし、関係機関からの協力を得て事業を実施した。

#### (1) 会議開催

令和2年7月20日(月) フレイル対策二次予防等事業実施報告会

#### (2) 加齢予防介入モデル事業

関係機関： 関川村「健脚・健脳うんどう日」

開催日： 令和2年11月4日(水)～令和3年2月3日(水)

参加者： 75名参加

実施内容： 10m歩行速度、握力、基本チェックリスト、血管年齢測定等

関係機関： トキめき会(佐渡市)

開催日： 令和2年10月23日(金)～25日(日) 参加者： 81人

令和3年1月8日(金)～11日(月) 参加者： 41人

〃 3月12日(金)～14日(日) 参加者： 109人

実施内容： 10m歩行速度、握力、バランス機能、筋肉量、認知機能、視力、聴力等



### (3) 疾病介入モデル事業

- 関係機関： 新潟南病院、佐渡総合病院、信楽園病院  
テ ー マ： フレイルを伴う高齢心不全患者へのリハビリ介入  
関係機関： 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器・一般外科学分野  
テ ー マ： 消化器外科手術症例におけるフレイル評価の有用性  
関係機関： 新潟大学医学部 消化器疾患診療ネットワーク講座  
テ ー マ： 肝疾患のサルコペニアにおける栄養状態  
関係機関： 新潟南病院  
テ ー マ： 身体的フレイル高齢患者に対する独歩プロジェクト「DOPPO」  
関係機関： 新潟大学歯学部摂食嚥下リハビリテーション学分野  
テ ー マ： 歯科外来患者における口腔機能低下症診断の実態調査

## 13 肝炎対策の普及啓発

新潟大学肝疾患相談センターと協働し、B・C型肝炎ウイルス感染の早期発見・早期治療に繋げるため、市民公開講座を開催し普及啓発を行った。

実施日： 令和2年8月2日（日）

場 所： WEB開催（Zoom）

参加者： 28人

テーマ： 「もっと知ろう肝臓のこと！～肝がんを防ぐためには～」

- 第一部 座長 新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野  
教授 寺井 崇 二  
新潟県立新発田病院 診療部長 川合 弘 一
- (1) 演題 「啓発活動について」  
講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野  
(肝疾患相談センター) 特任助教 荒生 祥 尚
- (2) 演題 「肝臓の働きについて」  
講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野  
(肝疾患相談センター) 特任助教 薛 徹
- (3) 演題 「B型ウイルス性肝炎について」  
講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野  
(消化器疾患診療ネットワーク講座)  
特任准教授 上村 博 輝
- (4) 演題 「C型ウイルス性肝炎について」  
講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野  
准教授 高村 昌 昭

- 第二部 座長 新潟県立新発田病院 院長 塚 田 芳 久  
 厚生連村上総合病院 副院長 杉 谷 想 一
- (5) 演題 「脂肪肝について」  
 講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野  
 (健康寿命延伸・消化器疾患先制医学講座)  
 特任准教授 横 尾 健
- (6) 演題 「県北地域での肝疾患について」  
 講師 新潟県立新発田病院 内科医長 (消化器内科) 佐 藤 聡 史
- (7) 演題 「肝硬変について」  
 講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野  
 講師 土 屋 淳 紀
- (8) 演題 「肝細胞癌について」  
 講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野  
 講師 上 村 顕 也

#### 14 働く世代のがん対策セミナー（がん治療と就労両立支援セミナー）

働く世代のがん検診受診率向上やがんになっても働き続けられる環境の充実を目指し、主に企業の経営者や人事労務担当者を対象としたセミナーを、新潟県との共催により次のとおり開催した。

開催期間： 令和3年3月10日（水）～令和3年3月26日（金）

開催方法： WEB開催（オンデマンド配信）

参加者： 60人

内 容：

(1) がん予防・がん検診

「がん予防・がん検診について」

新潟県立がんセンター新潟病院 院長 佐 藤 信 昭

「大腸がん検診の体験談」

NPO法人ブレイブサークルより紹介 長 澤 里 美

「がん検診の受け方について」

新潟県福祉保健部健康対策課 成人保健係主任 中 村 春 歌

(2) 治療と仕事の両立支援

「事業場・医療機関を巻き込んだ支援制度の紹介」

新潟産業保健総合支援センター 両立支援促進員 西 野 弘 幸

「企業の取り組み事例紹介」

株式会社アセック 工場長 黒 澤 康 子

## 15 新潟県認知症対策検討委員会（新規）

県内の認知症対策等の状況を県担当課等に確認し、県内市町村では、認知症に関するケアパス、地域連携、認知症カフェ、地域支援推進員の配置等の各種事業や対策が既に展開されており、また、県においても認知症に関する検討会議が開催されていることから委員会の新規立ち上げを見送った。

## 16 「がん哲学カフェ」立ち上げのための調査事業（新規）

がん患者や家族が少しでも不安や悩みを解消できるような支援について需要調査を行ったところ、既設のがんカフェや患者会等からは相談先等の広報強化が課題との意見があった。また、上中下越のがん相談支援センターでも、窓口への相談や患者会・サロンへの参加は少ないとのことであった。

このような現状を踏まえ、当面は、がんカフェやがん相談支援センター(14 か所)など患者・家族が語らいや相談ができる場があることの情報発信を本財団ホームページを活用するなどして行っていく。

## Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業

### 1 生活習慣病予防普及啓発事業

#### (1) 生活習慣病予防事業功労者表彰

「公益財団法人新潟県健康づくり財団功労者表彰要領」に基づき、生活習慣病予防活動に功労のあった方々に表彰を行った。

実施日： 令和2年10月23日（金）

場 所： 新潟県医師会館 大講堂

受賞者：

ア 保健文化賞受賞記念特別表彰

個人 八 幡 和 明 医 師

イ 公益財団法人新潟県健康づくり財団理事長表彰

個人 島 田 克 己 医 師

相 馬 隆 //

田 中 康 一 //

布 施 克 也 //

団体 該当なし

#### (2) 生活習慣病予防展

生活習慣病の正しい知識の普及、各種検診の受診率の向上等を目的として、がん征圧県大会と同時開催している生活習慣病予防展については、コロナ感染拡大防止のため中止とした。

### (3) 機関紙「陽光」発行

健康増進に関する論評、研究成果、その他普及啓発活動の状況及び統計資料等を内容とした機関紙「陽光」を3回発行し、市町村(公民館を含む)をはじめ関係団体、がん征圧維持会員等に配付しPRに努めた。

ア 第27号(令和2年7月31日発行)

「アルコール健康障害防止対策」

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 精神科医長

松 崎 尊 信

「子どもの肥満について考える」

新潟大学医学部新潟地域医療学講座・新潟大学医歯学総合病院小児科

小 川 洋 平

イ 第28号(令和2年12月21日発行)

「口腔の健康が及ぼす全身への影響」

一般社団法人新潟県歯科医師会 常務理事・木戸歯科医院 院長

木 戸 寿 明

「栄養と免疫：COVID-19流行下での栄養の意義」

新潟大学大学院保健学研究科 教授

小 山 諭

「ピンクリボンホリデー2020 リレー講座」

新潟市民病院 乳腺外科部長

坂 田 英 子

ほか講師3名

ウ 第29号(令和3年3月31日発行)

「がん治療と就労の両立支援」

日本医師会総合政策研究機構 客員研究員

上 家 和 子

「聴こえと認知症について」

五泉中央病院 院長

高 橋 姿

### (4) 健康教育資材等の貸出し・配付(「I 特定健診・特定保健指導支援事業」と共同事業)

#### 2 脳卒中情報システム事業

県の委託により、医療機関からの退院時情報提供及び脳卒中発症調査票並びに市町村からの脳卒中調査票を収集し、審査・集計・解析の上、報告書を関係機関に配付した。

退院時情報提供受理件数	486件	提出医療機関数	8施設
脳卒中調査票受理件数	304件	提出市町村数	16市町村
脳卒中発症調査受理件数	585件	提出医療機関数	47施設

### 3 新潟県がん検診精度管理調査（新規）

県の委託により、市町村が行うがん検診を受託する全ての医療機関に対し精度管理調査を行い、検診体制の実態を把握し、質の高い検診体制の構築を図るために必要な基礎資料を作成した。調査実績は以下のとおりである。

	調査機関数	回答機関数
肺がん（集団）	10	10
胃がん（集団）	13	13
胃がん（個別）	80	48
胃内視鏡	144	103
乳がん（集団）	8	8
乳がん（個別）	29	29
子宮がん（集団）	9	9
子宮がん（個別）	90	73
大腸がん（集団）	15	15
大腸がん（個別）	403	267

### 4 新潟県受動喫煙防止対策実施状況調査（新規）

県の委託により、令和2年4月改正健康増進法の全面施行により受動喫煙対策の強化が図られた状況において、第1種施設、第2種施設の法施行後の取り組み状況や課題を把握し、受動喫煙対策の基礎資料を作成した。調査実績は以下のとおりである。

	送付数	回答数
第1種施設	2,500	2,205
第2種施設	1,000	394

## IV がん予防普及啓発事業

### 1 がん征圧維持会員募集及び寄附受入れ

#### （公財）新潟県健康づくり財団 がん征圧維持会員募金状況

維持会員募金の実績は次のとおりである。

・ 法人会員	自治体会員	30市町村	1,225,000円
	医師会会員	16団体	400,000円
	検診団体会員	24団体	240,000円
	一般法人会員	43団体	425,000円
・ 個人会員		43人	167,000円
	（ 合 計		2,457,000円 ）

## 2 広報活動

がん予防のための正しい知識の普及とがん検診の受診率の向上を図るため、広報啓発活動を行った。

### ア 新聞広告等

新型コロナウイルス感染症の影響によるがん検診の受診率の減少を考慮して、新潟日報朝刊にがん検診の受診勧奨広告を掲載した。

掲載日 : 令和2年11月29日 (日)

### イ フリーペーパー広告

子育て世代の女性を主なターゲットに、フリーペーパー「はっぴーママ」に3回にわたり受診勧奨の広告を掲載した。

- ・ 6月25日発行分 : 肺がん
- ・ 10月25日発行分 : コロナ禍でのがん検診の受診勧奨
- ・ 12月25日発行分 : コロナ禍でのがん検診の受診勧奨

### ウ ポスター・リーフレットの配布 (部数)

- ・ ポスター「がん征圧月間」 350枚
- ・ ポスター「禁煙推進」 350枚

## 3 第37回がん征圧新潟県大会

令和2年10月15日に柏崎市での開催を予定していた第37回がん征圧新潟県大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度に開催を延期した。

## V 研究研修事業

### 1 技術者研修会開催

#### (1) 健康診査従事者研修会

診療放射線技師、臨床検査技師、細胞検査士、保健師等、生活習慣病検診に従事する職員の資質及び技術の向上を図る目的で、新潟県及び新潟県検診機関協議会と共催で次のとおり開催した。

開催期間 : 令和3年3月15日(月)～25日(木)

開催方法 : WEB開催(オンデマンド配信)

参加者 : 第一分科会 136人  
第二分科会 62人  
第三分科会 44人

内 容 :

(1) 第一分科会

講演 1 「後期高齢者質問票について

－高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施－

講師 新潟県後期高齢者医療広域連合 総務課企画係 石川 玲子

講演 2 「改訂された標準採血法ガイドライン (GP4-A3) に沿った採血法について－おさえておきたい安全な採血手技と基本的な注意事項－

講師 新潟大学医歯学総合病院 検査部 副技師長 小林 清子

(2) 第二分科会

講演 1 「継続する法改正への対応について」

講師 新潟市民病院 医療技術部 放射線技術科 科長 成田 信浩

講演 2 「非結核性抗酸菌症」について

講師 国立病院機構西新潟中央病院 総括診療部長 桑原 克弘

(3) 第三分科会

講演 1 「子宮頸がん検診ガイドライン改訂のポイント」

講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 産科婦人科学

准教授 関根 正幸

講演 2 「口腔細胞診の現状と問題点」

講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔病理学分野

教授 田沼 順一

**(2) 特定健診従事者研修会 (新規)**

特定健診をより効果的に実施するために、必要な知識の習得を目的として、県の委託により次のとおり開催した。

開催期間： 令和3年3月15日(月)～25日(木)

開催方法： WEB開催(オンデマンド配信)

参加者： 140人

内 容 :

講演 1 「特定健診の結果の見方・考え方」

講師 新潟大学大学院 生活習慣病予防検査医学講座

特任教授 加藤 公則

講演 2 「脂質の各項目の意味と、数値改善への取組」

講師 新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科

教授 久保野 勝男

### (3) 細胞検査士研修会

肺がん検診及び子宮がん検診の受診拡大及び精度向上を図るため、細胞検査士の資質向上を目的として、県の委託により研修会を次のとおり開催した。

開催日： 令和2年8月31日（月）～9月13日（日）

場 所： WEB開催（オンデマンド配信）

参加者： 88人

内 容：

症例検討「ホルモンの関与が疑われる子宮細胞診症例」

座長 新潟市民病院 産科部長 倉 林 工

講師 長岡赤十字病院 病理診断部長 薄 田 浩 幸

厚生連長岡中央総合病院 産婦人科部長 加 勢 宏 明

新潟県立がんセンター病院 婦人科 臨床部長 菊 池 朗

新潟市民病院 病理診断科部長 橋 立 英 樹

### (4) がん検診セミナー

新潟県におけるがん教育の現状等について研修を実施することで、将来のがん検診の受診につなげることを目的に、各市町村がん検診担当課・国保担当課・教育委員会の検診およびがん教育に従事する職員等に向け、県の委託により次のとおりセミナーを開催した。

開催日： 令和3年2月19日（金）～3月5日（金）

場 所： WEB開催（オンデマンド配信）

参加者： 140人

内 容：

講演1 「新潟県のがん教育の取組み」

講師 新潟県教育庁保健体育課 学校体育指導係

指導主事 渡 邊 修 二

講演2 「当財団のがん教育の支援活動について」

講師 新潟県健康づくり財団 事業推進課 課長代理 阿 部 晴 樹

講演3 「がん教育の動向と行政等に期待すること」

講師 新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科 准教授 杉 崎 弘 周

## [ 収益事業等 ]

### I 特定健診等健康情報管理還元代行等事業

#### 1 特定健診等健康情報管理電子化業務代行事業

特定健診料金の請求処理業務を迅速化するため、特定健診結果の電子化業務を健診実施機関から受託し請求業務を代行した。

特定健診結果電子化代行処理業務 487機関 73,585件 (75,096件)

( ) 内は令和元年度実績



## 2 特定健診結果個人結果通知書作成事業

特定健診等個人結果通知書の作成依頼があった健診実施機関又は保険者に対し、受診者の特定健診等結果を作成し提供した。

特定健診個人結果通知書作成業務 2市・56機関 3,161件 (1,803件)

( )内は令和元年度実績

## 3 健康づくり及び生活習慣病等に関する印刷物等の頒布事業

生活習慣病予防活動を推進し県民の健康の保持増進を図るため、がん検診等について、分かりやすく解説したリーフレット、冊子を市町村・健（検）診実施機関向けに頒布した。

(リーフレット)

・がん検診	28 施設	4,200 部
・乳がんのセルフチェック	29 施設	46,730 部

(冊子)

・がんのしおり	25 施設	25 冊
・生活習慣病のしおり	55 施設	55 冊

## 事業報告附属明細書

令和2年度は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第12条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。